

奇岩照らされ 幻想世界現る

保 秋
峡 々
仙 台
磊 々

G7
in 仙台
財務相会議

仙台市で5月20、21日に開かれる先進7カ国(G7)財務相・中央銀行総裁会議を控え、会場の太白区秋保町を流れる名取川の渓谷「磊々峡」でライトアップが始まった。新たな展望スポットの磊々峡公園も渓谷沿いにオープンした。

今年で5年目。渓谷沿いに照明300基を設置し、29日まで毎日午後6時半〜8時半に点灯する。地元の子どもたちが作った灯籠も飾られ、彩りを添えている。

磊々峡公園は市が渓谷入り口の覗橋のぞきばし近くに整備、面積約2100平方メートル。ベンチ8基を置き、渓谷を間近で見下ろせる。

ライトアップは秋保温泉旅館組合などが企画し、ハート形のくぼみがあることから、組合などが「恋

人の聖地」として売り出し中の渓谷岩盤にちなみ、ハート形の台座に盛った砂にメッセージを書き込む「砂のラブレター」を用意。暗くなると、スクリーンに万華鏡の模様が映し出される仕掛けも作った。

組合は「秋保を代表する観光名所の磊々峡で、華やかで幻想的な雰囲気を楽しんでほしい」とPRする。



ライトアップされ、幻想的な雰囲気が漂う磊々峡